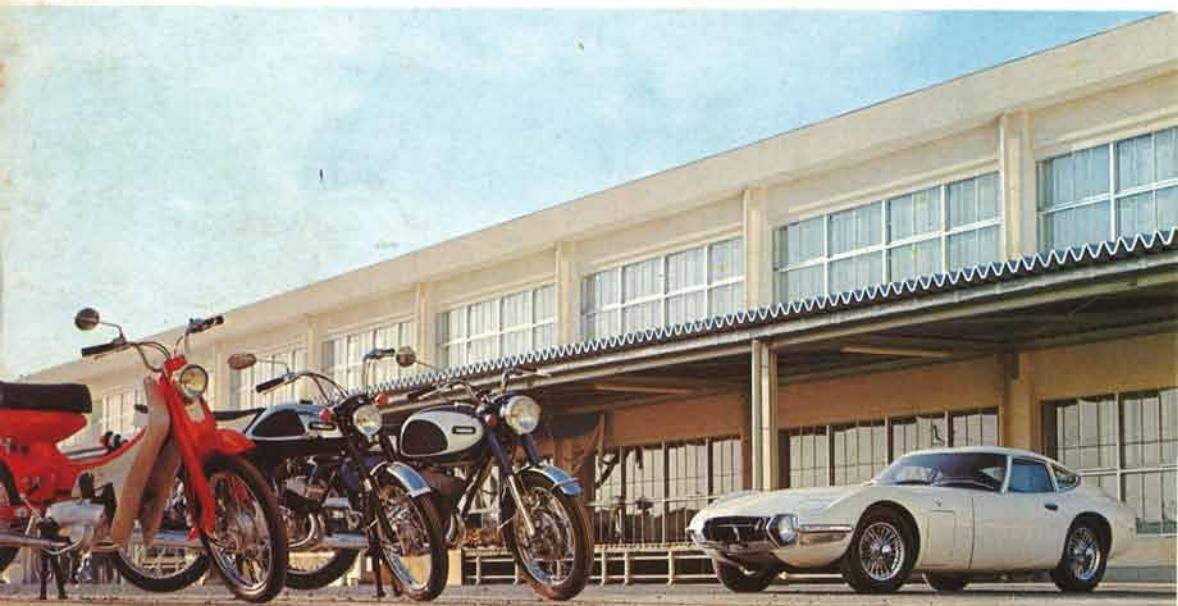
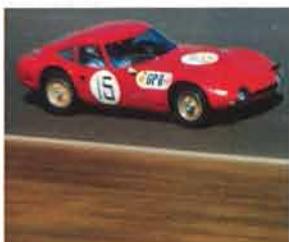


ヤマハニュース

YAMAHA NEWS NO.37

1966
躍進ヤマハ
特集号



’66 躍進ヤマハ 特集号



販売店のみなさま、日ごろはヤマハ号販売のため、格別なるご尽力にあずかり、まことに有難く、厚くお礼申し上げます。

おかげさまにて、メイトを中心に、ヤマハの成果はますます高まり、めざましい発展と、安定した基盤を築くことができました。

そしていまや、世界の2サイクル業界を完全にリードするに至っております。

このような現況と、将来に対する確たる見通しにより、今回当社では、本社新工場、磐田新工場などの建設を中心に、生産設備の大巾な拡充を推進しつつあります。

これら一連の新工場の完成によって、品質のヤマハ、技術のヤマハとしての名声を、ますます堅持し得ると同時に、市場におけるいかなるご要望にも、すみやかに応えられる万全の体制が可能となりました。

今後とも、ヤマハでは、販売店、特約店、メーカーともどもの豊かな繁栄を築くために、健全にして積極的な施策を続行してまいります。

なにとぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

ヤマハ発動機株式会社

ヤマハニュース 躍進ヤマハ特集号

目次

(表紙) ヤマハならこそ
「あいさつ／川上源一」

新工場つぎつぎ完成
活気あふれる本社工場

急ピッチで整備される磐田工場
品質世界一を誇る北川自動車

高出力高性能を生みだす昌和製作所

世界を走る50万台のオートルーパ

誌上／ヤマハメイト会議
トヨタ2000GTをつくるヤマハの技術

内外に活躍するヤマハ
躍進／ヤマハ特約店一覧
ヤマハ／輸出会議で表彰

世界の話題／ヤマハオートルーパ

オートルーパツイン 90
YDS-1-3 そして自動車ファン垂涎

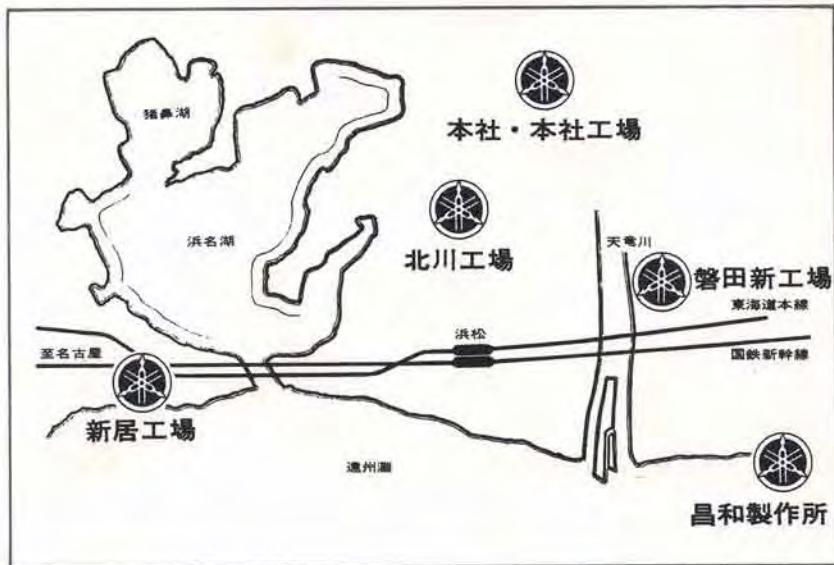
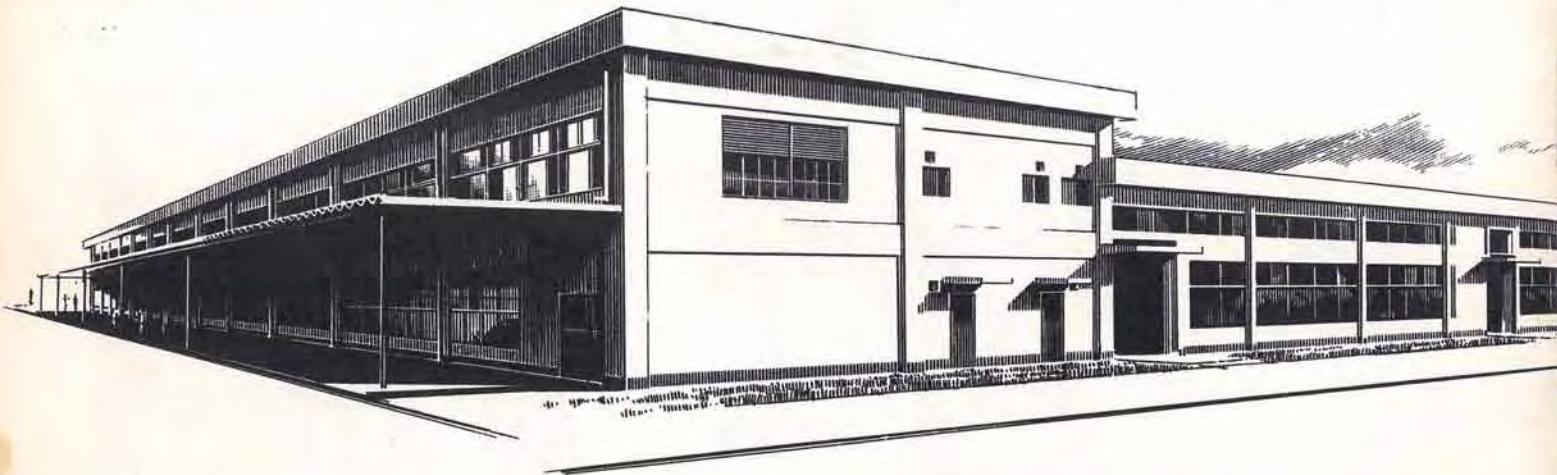
のトヨタ2000GT。エンジン技術
の最高峰を目指すヤマハの誇りです。

表紙の言葉

新工場とヤマハの技術を象徴する製品
ヤマハメイト オートルーパツイン 90
YDS-1-3 そして自動車ファン垂涎
のトヨタ2000GT。エンジン技術
の最高峰を目指すヤマハの誇りです。

60万台年産工場完成!

ヤマハとともに“躍進”しましょう



全世界の信頼に支えられて、ヤマハは生産に、輸出にと、躍進を重ねています。このほど、本社工場に隣接して、最新の設備を合理的に配置した新工場が完成し、ヤマハ・オートバイの生産能力が倍増しました。さらに、販売店のみなさまとともに、ヤマハの夢を伸ばしていくため、磐田にも大規模な新工場を建設中です。

こうした状況を観察するため、ヤマハグループのみなさんが新工場を訪れました。みなさんも誌上で、と一緒に“躍進ヤマハ”的活動ぶりをごらんになつてください。





ヤマハのオートバイが、ぞくぞく誕生する。



世界中でもっとも信頼されているヤマハのエンジンは、徹底した品質管理のもとで生産される。

●新工場 つきつき完成!

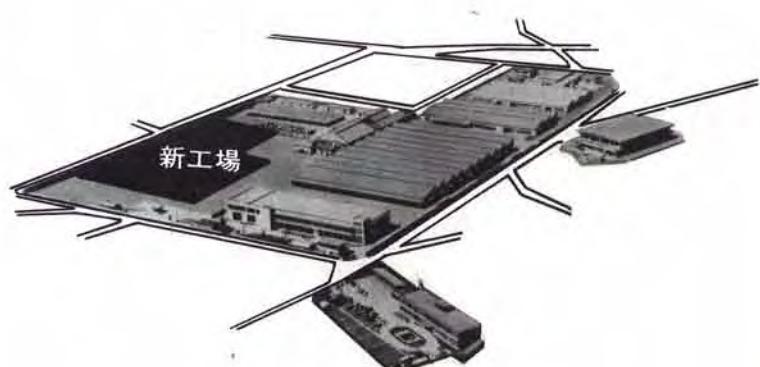


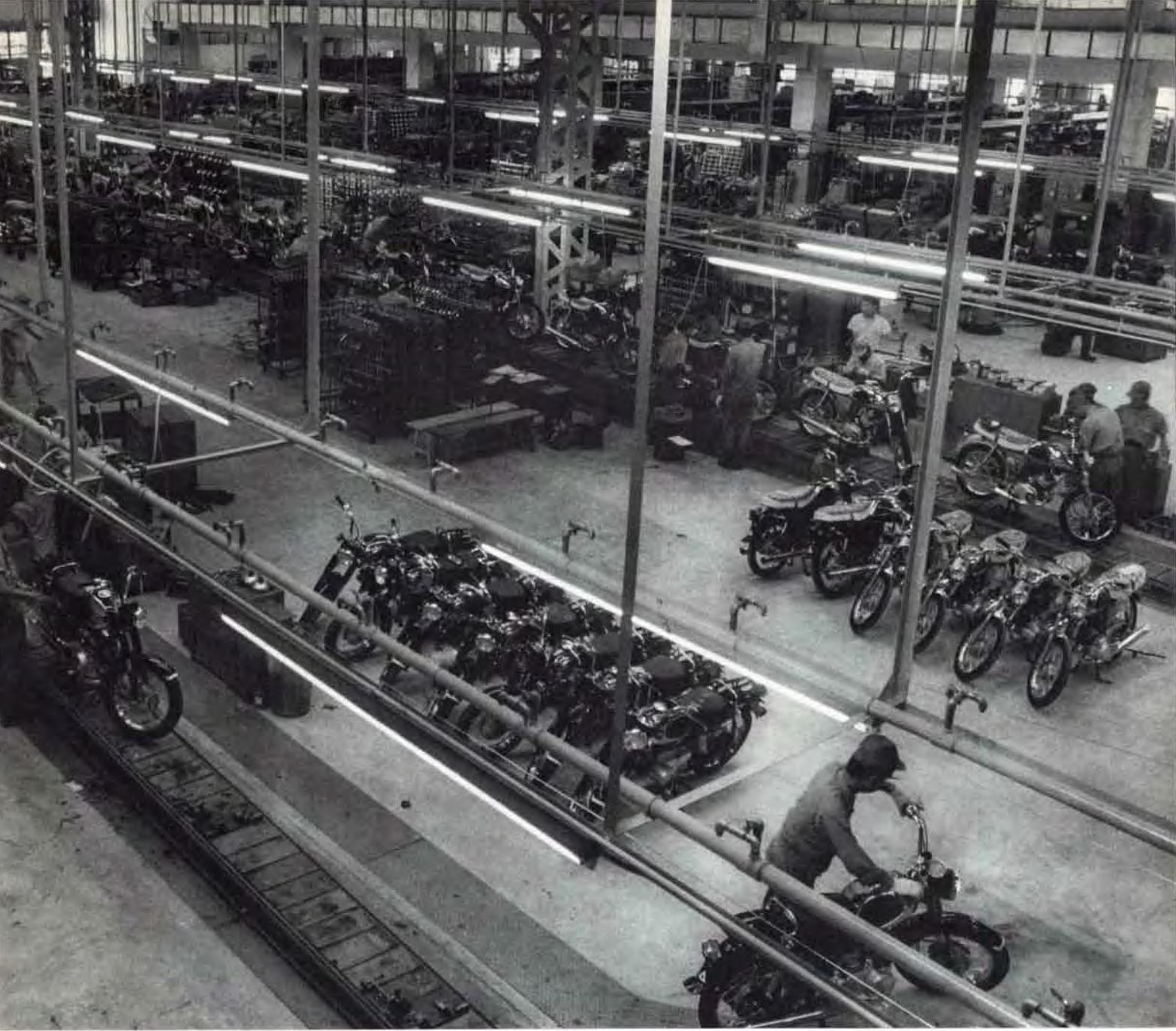
新工場の稼働で、ヤマハの躍進体制が、さらに一步前進しました。2サイクル・エンジンの二輪車メーカーでは、世界最大の生産能力を備えるとともに、高品質、高性能のヤマハの品質管理が、一層充実したわけです。

躍進ヤマハの工場集団の枢要として、本社工場ならびに新工場は、活気にあふれた操業を行なっています。合理的で機能的な工場レイアウトによって、ムダのない一貫作業がづけられ、世界が認めるよい製品が低コストで生み出されているのです。

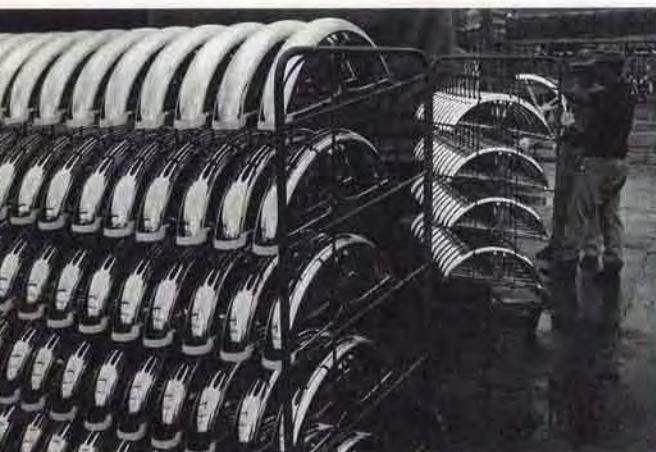
車体組立ラインを中心に、部品管理、塗装、テストスタンド、梱包、出荷ラインなどで構成される新工場の完成によって、ヤマハ・オートバイの生産能力は飛躍的に向上しました。

写真は新工場の説明を聞くみなさん。





メイト・メイト・メイト……稼動を開始した新工場。三本の組立ラインを中心に、リズミカルな流れの中で、



ヤマハの工場集団や協力工場との緊密なきずなが、ムラのない品質を生みだす。



ヤマハの工場集団や協力工場から、新工場に部品が送り込まれてくる。部品は、いったんプラットホームにおろされてから、部品管理部門に回わされる。



技術のバイオニア、ヤマハの誇りが、研究陣のひとみに宿る。激しい情熱が、技術の常識を破り、世界の話題を生む。



清潔で広びろとした新工場 2階の事務所。

●新工場 つぎつぎ完成!



意欲的な活動をつづけるヤマハの各工場を視察されたみなさんは、躍進ヤマハの原動力がなんであるかを十分に認識されたようです。

それは、世界の信頼をうらぎらないすぐれた製品をより安く供給するために、日夜、努力を重ねている姿です。

技術の研鑽、新製品の研究開発、性能、品質の向上、コストの低減、サービスの徹底… みなさんに満足して売っていただける製品を生み出すため、あらゆる努力の集積は、そのまま、ヤマハ製品の信用を世界にひろめるための原動力にもなっているのです。

大きく伸びるヤマハの主力！ヤマハと一緒に躍進してください。

写真は、新工場の前に勢ぞろいしたヤマハ製品を熱心に見るみなさん。



見学者コースが設けられたのも新工場の特長のひとつ。各部を見おろせるよう、工場内を一巡している。



アメリカのメイト(仲間)のもとに、東南アジアのメイトのもとに……心のこもった分解梱包作業。



2 サイクルエンジンに新時代を招來したヤマハ「オートループ」は、女子従業員のゆきとどいた神経で組み立てられる。

船外機の需要も急増



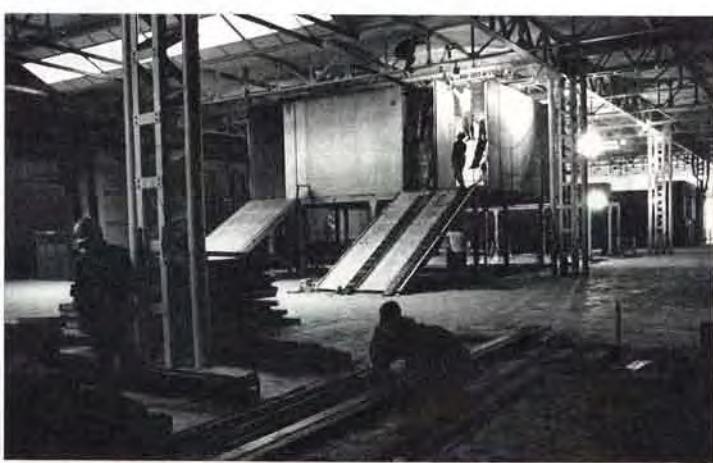
わが国で使われている船外機のうち、10台に7台以上が、このヤマハ本社工場でつくられたものである。



あらゆる苛酷な条件のもとで、テストをくりかえし、安全で高性能の車を市場へ送り出す。



漁業に、レジャーにと、需要が急増し、いまや生産も急ピッチ。組立てられた船外機は水槽でテストされる。



脱脂、水洗い、塗装、乾燥焼付けまで一貫して行なわれる塗装工場。

●新工場 つぎつぎ完成! 急ピッチですすむ

磐田新工場の建設

すでに生産をやめた車の部品から、新発売の車の部品まで、すべて型式別に整然と管理してある。いかに高性能な車でも、アフターサービスに万全を欠いては、信用が育たない。

十四万八千平方㍍におよぶ広大な敷地に、磐田新工場の建設が着々とすすめられています。

巨大なブルドーザーのうなり。青空にひびく抗打ちの音。組み立てられていく鉄骨。躍進ヤマハの力強いビジョンが、次第に実現されていく姿に、視察中のみなさんも、おおいに意を強くされました。

ますます高まるオートループの評価とともに、めざましい躍進をとげてきたヤマハは、さらに世界の期待にこたえるために、生産体制を大巾に増強しようとしているのです。

品質に、性能に、技術に、生産力に、ヤマハの基盤は、ますます確固たるものに育っています。



磐田に完成した部品倉庫。ヤマハ・オートバイとヤマハ船外機の部品はすべて豊富にそろっている。国内の需要にも輸出にも、迅速なサービスができる。



磐田にはまた、補修部品を世界のあらゆる地域に、より円滑に、より潤沢に供給するため、部品倉庫を完成。サービス体制の強化を図りました。安心してヤマハを売っています。

写真は、磐田新工場の建設現場をカメラにおさめる北海道ヤマハモータース社長、柳谷文吉氏。



ヤマハの技術が、トヨタと協力してつくり上げたトヨタ「1000GT」。多くのファンが発売を待ちこがれている話題のスポーツ・カーだ。試乗するヤマハ川上社長の表情も、大きな抱負で明るい。



磐田新工場の建設は急ピッチですすんでいます。巨大な新工場が動きはじめるのも間もなくだ。

世界一ヤマハにクレームはない



ノー・クレームの自信に満ちた工場内を熱心に見て回るみなさん。

品質は世界の誇り はりきる北川自動車

●新工場
つぎつぎ完成!

巨大なプレス機械が林立する工場から、フレームやタンクが流れ出でます。製品は、強じんで、すぐれた耐久性を要求されるばかりでなく、機能的な美しさを持っていなければならぬのです。そのためには当然、厳選された材質と、近代的な設備にふさわしい、卓越した生産技術とが必要とされます。クレームのないヤマハ、世界に伸びるヤマハの信

ヤマハの工場集団は、「クレームのない世界一のヤマハ」をつくるために、緊密な連携のもとで、研鑽を積んでいます。

プレス鋼板やクラッチの製造技術などで、すぐれた特色をもつ北川自動車も、高品質のヤマハを育てるための一翼をになつて、活動しています。



新工場のお客さん

販売店のみなさんが視察

ぞくぞく完成するヤマハの新工場を視察するため、販売店や特約代理店の人たちが、ヤマハ発動機を訪ねました。

まず6月上旬、松山営業所管内の販売店36人が、新工場その他を参観しました。伊予鉄バス、高松一宇野間の連絡線に乗り、宇野からは観光バスで直行されたものです。

また6月下旬、全国のヤマハ特約代理店のうち約60社の代表が、躍進ヤマハの状況を視察しました。本社工場に隣接した新工場、磐田新工場、新居新工場をはじめ、沼津工場、草出工場など、ヤマハ工場集団をまわりました。



ボート工場を視察する松山の販売店のかたがた。



本社新工場前で記念撮影をする特約店のかたがた。

在日米軍最高指令官が見学

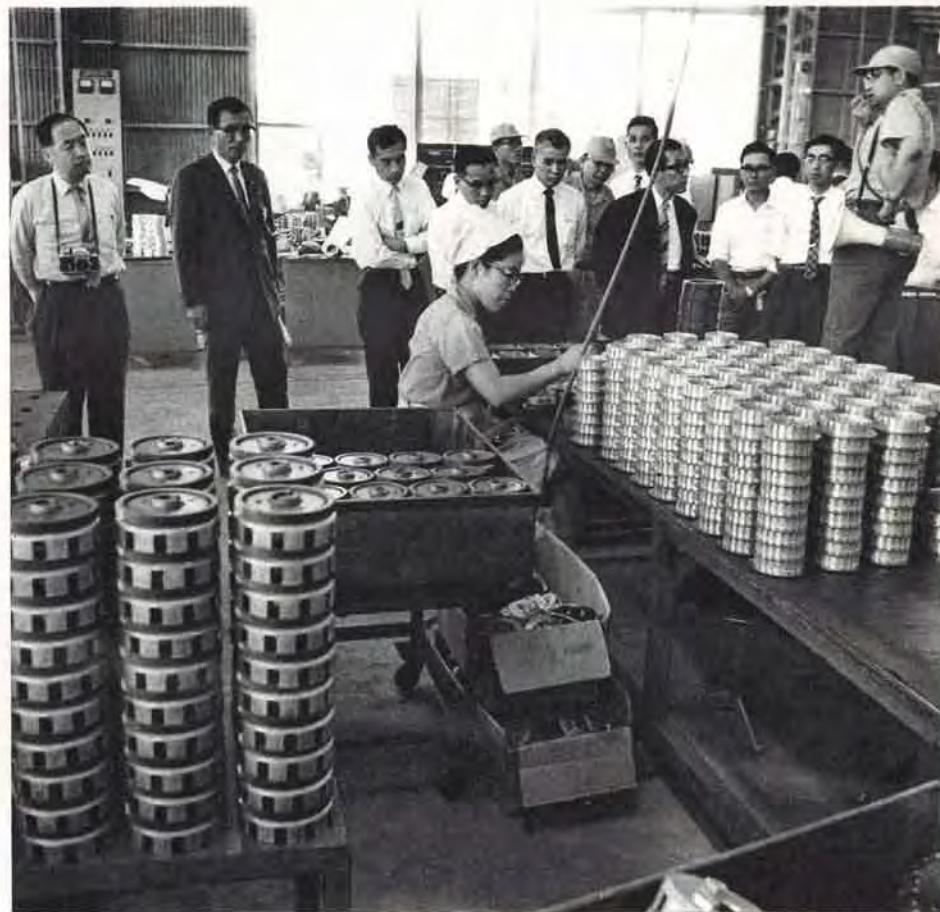
在日米軍総合指令部最高指令官のモーリス・A・プレストン中将が、指令官室儀典課の福川太氏につきそわれて、ヤマハ発動機の工場を見学しました。

プレストン中将のご家族は、そろってヤマハ・ファン。ご子息はヤマハオートバイを、令嬢と日本人の奥さまはヤマハビアノの愛用者です。「みんなが愛用しているヤマハ製品がつくり出されるところを、この目でみたい」という気持から、今回の工場見学になったものです。

ヤマハでは記念品にヤマハクラシックギターを贈りました。中将は、休暇を三河で過ごされるので、ヤマハギターはよいお供になるでしょう。



工場を見学されるプレストン中将。



すこしのくるいも許さないクラッチの製造工程に強い関心が寄せられた。



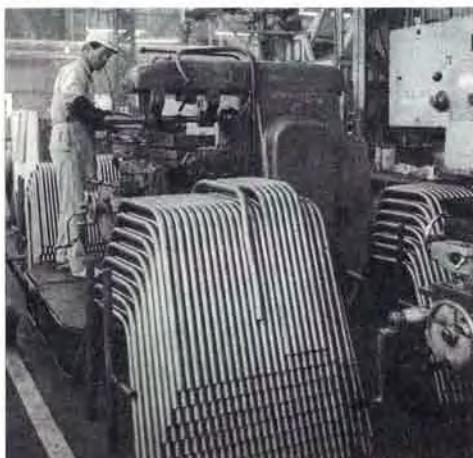
「ほう、スゴい！」強力なプレス機械に関心が集まる。



世界の名車を生み出す

最高の技術 昌和製作所

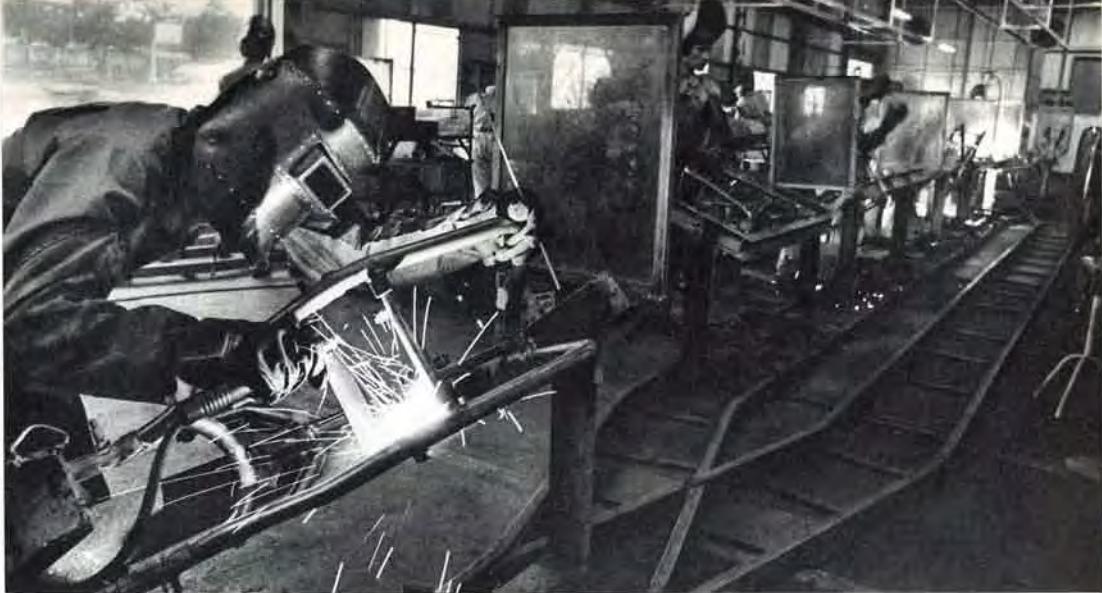
国境を越えて信頼される製品を！若い情熱を込めて、パイプの熔接作業にうち込む。



抜群の高出力、高性能で知られるヤマハの大排気量車“世界の名車”は、この沼津工場で生み出されています。
はやくから近代的な設備と合理的な工場レイアウトで定評のあつた昌和製作所は、さらに優秀設備の導入と生産ラインの合理的配置を重ねた結果、今日の偉容を備えるに至ったわけです。

世界の専門家から「最高」という折り紙をつけられたヤマハは、この強力な設備や技術

●新工場
つぎつぎ完成！



昌和製作所におけるパイプの熔接技術は、日本が世界に誇り得るものひとつだ。それだけに作業も真剣。

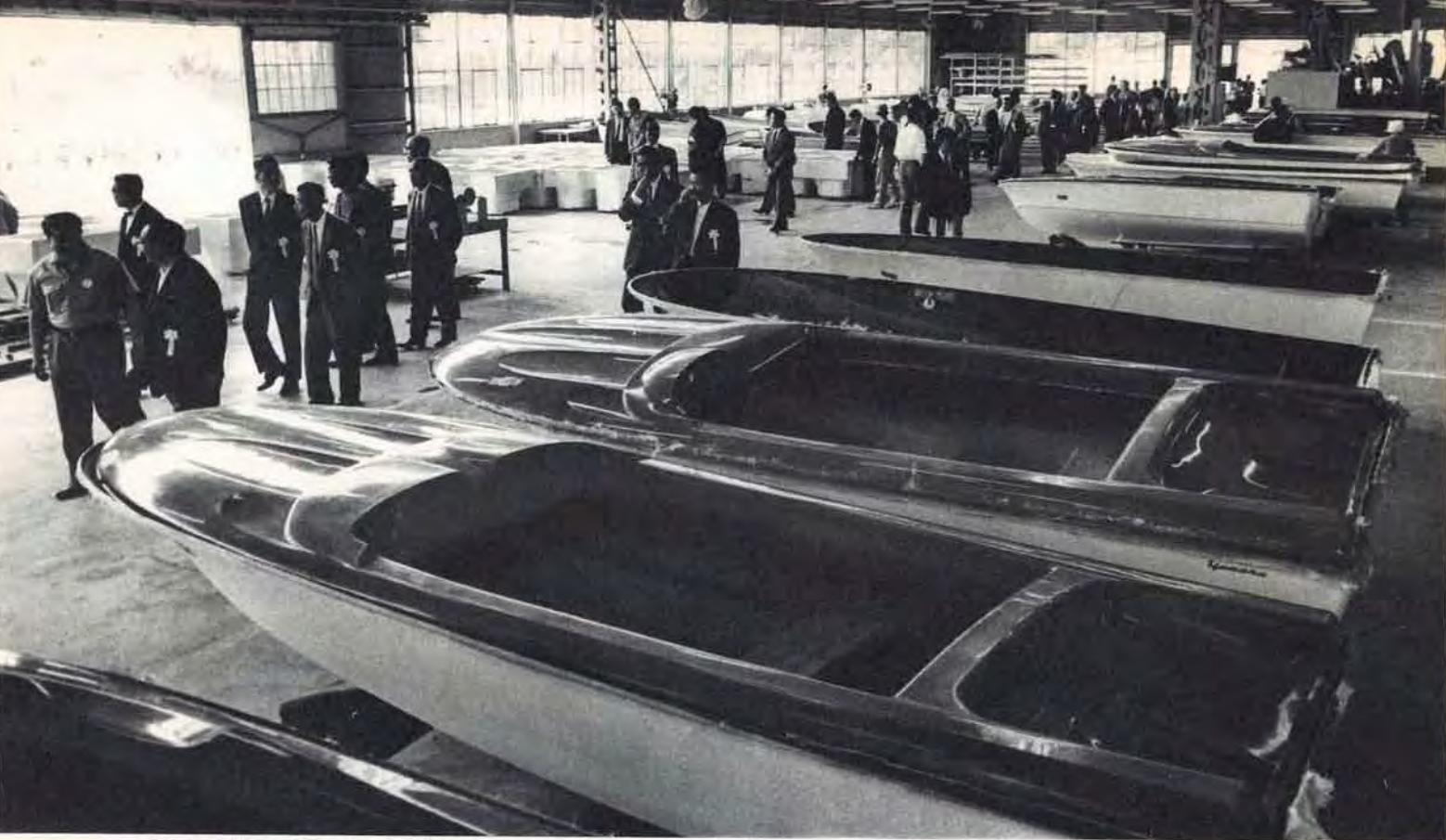
長い組立ラインを流れていくうちに、YD S-3の形状が次第にととのっていく。



高性能エンジンは正確で緻密な作業を経て完整なものになる。

に加え、世界の評価をうらぎらないオートバイをつくろうという情熱によって、きたえられ、みがき上げられているのです。
昌和製作所はよいオートバイをつくるための特殊技術を非常に多く持っていることでも知られています。その代表的なものに、パイプの熔接技術と、そのための設備とがあります。すぐれた製品にかける情熱と若さが、火花となってほとばしります。

躍進ヤマハの工場集団にあって、昌和製作所は個性的な存在です。
写真は、ひずみのないフレームをつくるために設計された独特的のパイプベンダー。



新工場の完成で新居工場の生産能力も飛躍的に伸びた。11フィートから50フィートまでさまざまなボートがつくられている。

●新工場つぎつぎ完成!



新居に出来たボート新工場、この工場から10~15メートル(40~50フィート)クラスの新艇が、ぞくぞく生れていく。



家庭に平和と健康をもたらすヤマハバスは新居工場で生産される。漁船をつくった世界的なFRP技術がヤマハバスにも生かされている。

生活に夢を育てる ボートとバスの新居工場

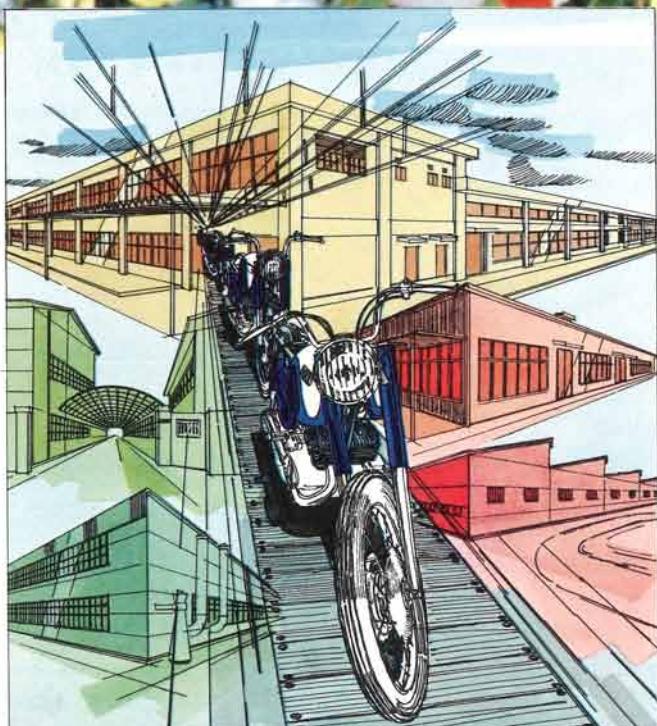


さきに完成した新居の新工場も本格的に稼働しています。新工場の増設によって、豪華な超大型艇S40から、釣りブームで需要に追われる安くて軽快なフィッシャーマン12まであらゆる種類のヤマハボートが生産されるようになりました。

アルミより軽く、鉄より強いFRPでつくられているヤマハボートは、海のレジャーの花形です。市場占拠率も70%をこえました。

ここではまた、家庭に愛されるヤマハバスを生産しています。生活の夢を育てる工場です。

写真は美しいデザインに見入るみなさん。



躍進ヤマハ

まったく整備なったヤマハ工場群 そしてぞくぞく生
れるヤマハオートバイ ヤマハポート ヤマハ船外機
ヤマハメイトは全世界の海にも山にも増加しています



ヤマハオートルーブ ラインアップ

世界をメイトに——ヤマハオートルーブ



〈オートルーブでワイドに行動!〉

ヤマハ60 YJ-2

軽快でタフ。レジャーにビジネスに、だれもが気軽に乗れるヤマハ60YJ-2は、ふたり乗りでも苦にならない力強さをもっています



〈オートルーブで大きく働く!〉

ヤマハ50 YF1-D

ジュニアゆずりのスマートなスタイルをもつ本格派モベットのヤマハ50YF1-D。その軽快な乗り心地がとくに評判です。



〈オートルーブで暮しのスピードアップ!〉

ヤマハメイト50

“メイトに乗れば安上がり”……オートルーブ付で高性能、もっとも経済的なヤマハメイト50は世界の家庭用品。新たにセル付も登場し、ますます高い人気をあつめています。



〈オートルーブでつよい90!〉

ヤマハ90ジュニアAH-1

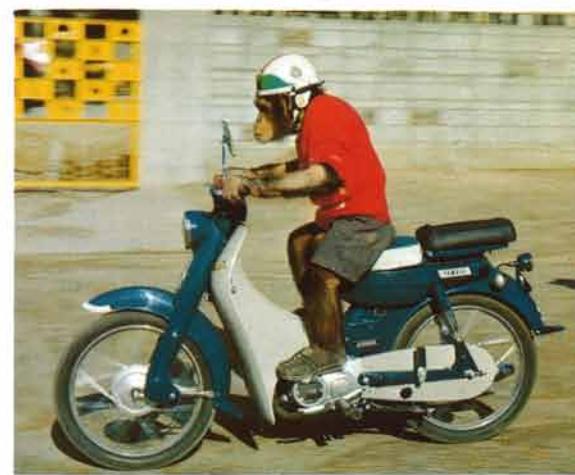
同じ90でも強さがちがう。低速から高速にかけて巾広い実用性能をもつヤマハ90ジュニアAH-1は本格派90の代表車です。



〈オートルーブでスポーツの真ずい!〉

ヤマハ80ジュニアスポーツYGS-1

手軽にスポーツが楽しめるヤマハ80ジュニアスポーツYGS-1。軽快なスタイルとシャープな性能で若人の注目を集めています。



〈オートルーブで手軽さいちばん!〉

ヤマハメイト70

だれもが手軽に乗れるヤマハメイト。そのふたり乗り用がこのメイト70。巾広い需要層のご要望にお応えしてセル付も登場しました



〈オートループで1年じゅうタフ!〉

ヤマハ125 YA6

もっとも安定した実用性能をもち、多方面にわたって活躍しているヤマハ125YA6。その実力はあらゆる困難な走行条件を克服し、まったくタフな車と万人に認められています。



〈オートループで抜群な性能!〉

ヤマハ80ジュニアYG1-D

より美しく、より使いやすく、よりすぐれた性能をまっさきに実現したヤマハ80ジュニアYG1-Dは、国内はもとより、海外の市場でもひときわ高い評価をうけてますます好調



〈オートループでいつもスマート!〉

ヤマハ70 YP1

しゃれたセンスで軽快感あふれるスタイルが魅力のヤマハ70YP1は、またすぐれた走行性能をもち、若人の期待に応えています。



〈オートループで高出力、高性能!〉

ヤマハ305 スーパースポーツYM1

オートループエンジン最大の排気量をもつヤマハ305スーパースポーツYM1。その実力は文字どおり最高のものとして、あらゆるベテラン・ユーザーを満足させています。



〈オートループでタフなスポーツ!〉

ヤマハ250 スポーツYDS-3

抜群の高速性能に加えて、高度の信頼性をもつヤマハ250スポーツYDS-3は世界の若者たちのあこがれのマト。すべてに完ぺキな設計が施された本格派スポーツの決定版です

〈オートループで完ぺキなツイン!〉

ヤマハオートループツイン90

世界で最初の90cc2気筒。実用に、スポーツに、ヤマハオートループツイン90の快足ぶりはすでに定評のあるところ。すべてに高性能なまったく新しい90です。

ヤマハボート / ヤマハ船外機

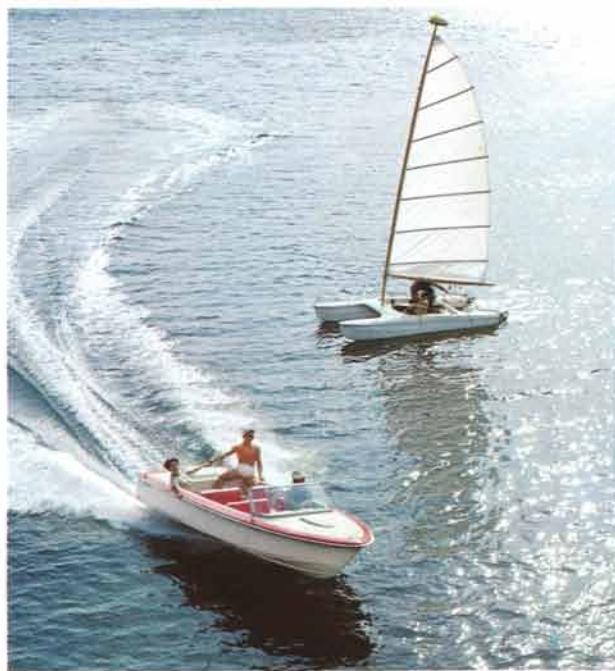
ラインアップ 水の上にもヤマハがいっぱい



〈手前から〉

レジャーに、業務用に、多方面にわたって活躍するヤマハのボート／船外機群

- ランナバウト気分も存分に楽しめるハイフレックスIIと強力22馬力のP-350船外機。
- 巾広い用途に使えるフィッシャーマンI4と実用性能に富んだ6馬力P-T125船外機。
- 横ゆれにつよい双胴艇カタマランI4とバックギヤもついている5.8馬力P-C-55船外機。
- 水の上のレジャーも手軽なフィッシャーマンI2と扱いやすい3.5馬力P-C-35船外機。



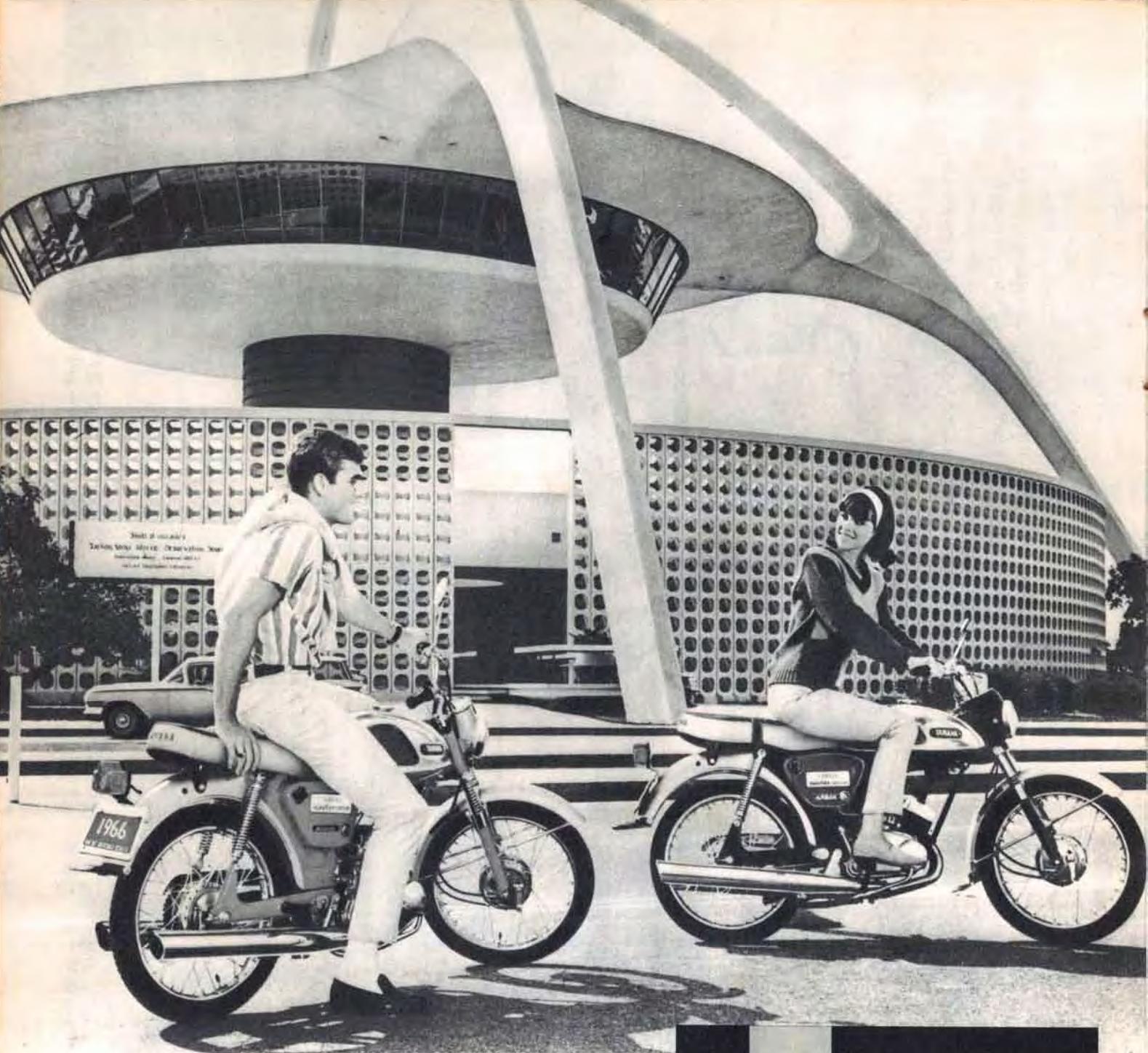
ボート占拠率70パーセント

水の上にはつねにヤマハがある。(愛好者を魅了させずにはおかないセーリングカタマランI4と波切り方向安定性に抜群の性能をもつことで高い人気を得ているストライプI6)



船外機占拠率71.7パーセント!

すぐれた性能、抜群の耐久性に高まる人気。(5.8馬力P-C-35はこのクラスでは唯一のバックギヤ付で、沿岸漁民の方にはとくに高い人気をあつめている)



すでに50万台をこえるヤマハ「オートループ」が世界を走り、生活の中にとけこんでいます。

ヤマハ「オートループ」が、全世界にさきがけて市販車に採用されたのは昭和三十九年の春でした。以来、早くも五十万台をこえるヤマハ「オートループ」が世界を走り、その真価が認められています。しかも、オートループキヤンペーンによって、世界中のお客様が、ヤマハ「オートループ」に絶大の信頼を寄せていることが実証されました。世界で最初、世界で最高。ノーカレーム。これが「ヤマハオートループ」です。



ヤマハ「オートループ」

ノーカレーム／サービス・フリー

世界を走る
50万台

世界を走る50万台

■ 第十回 東京モーターショーで
ヤマハオートルーブに脚光

■ 2サイクルの革命



昭和三十八年十月、第十回東京モーターショーが、東京・晴海で開催されました。二輪車館で最大の脚光を浴びたのがヤマハ「オートルーブ」でした。

ヤマハGPレーサーの秘密兵器といわれていたオートルーブが、はじめて公開されたのです。しかも市販車のエンジンに取り付けられました。ついへんな反響を呼びました。

しかし、モーターショーで発表されたオートルーブ付きヤマハが二五〇ccであったため、「軽量車への採用は困難なのではないか」という声が、専門家の間からも聞かれたものでした。



■ 世界GPでオートルーブを開発

2サイクルエンジンは、非常にすぐれた利点をもっています。構造が簡単で高性能、保守が容易で扱いやすく、非常に長もちするエンジンです。エンジンの寿命を左右する潤滑に関しては、毎回新しいオイルが送られるので、耐久性が抜群です。ところが、ただひとつ、2サイクルエンジンに残されていた問題点がありました。それは、混合燃料を使用しなければならないという本質的な問題でした。これを完全に解決したのがヤマハ「オートルーブ」です。

■ 全世界が驚がく！絶讚



ヤマハ「オートルーブ」の登場は全世界の注目を集めました。内外の専門誌紙も筆をそろえて絶讃しました。

「2ストロークエンジンの設計における偉大な前進（モーターサイクルニュース）」

「革命的なポンプ・インゼクション給油方式（モーターサイクル）」

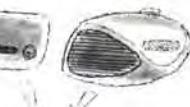
「人気の中心オートルーブ（モーターサイクリング）」

「新らしい方向を示したヤマハオートルーブ（モーターサイクリスト）」

ヤマハ「オートルーブ」の技術は、GPレーサーとともに開発され、そのすぐれた技術が、市販車にもとり入れられたのです。

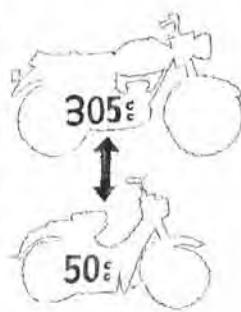
性能、耐久性、信頼性について、これ以上苛酷なテストはないといわれる世界GPレースで実証されたヤマハ「オートルーブ」です。

■ オートルーブ専用オイル



オートルーブの性能を完全に発揮させるためには、エンジンにもつとも適したオイルを使用することが必要です。ヤマハ「オートルーブ」専用オイルがそのためには発売されました。四輪車の分離給油用にヤマハオートルーブオイルを使用するお客様まで出てきました。

■ 全車種にオートルーブ



305ccのYM1から50ccのU5まで、すべてのヤマハオートバイに、ヤマハ「オートルーブ」が採用されています。「オートルーブ」はヤマハの代名詞であるとともに、2サイクルエンジンの分離自動給油装置の代名詞になりました。



オートルーブの特長



④キャブレターがよごれない。



③あらゆる状況に対して潤滑が完全。



②オイル交換が不要。つねに新鮮なオイルを供給できる。



①混合でない。

■ ヤマハ ホートループ 発売



昭和三十九年四月、ついにヤマハ「オートループ」が発売されました。オートループ付きYAMA6・YG1-Dがそれです。

昭和三十九年四月、ついにヤマハ「オートループ」が発売されました。オートループ付きYAMA6・YG1-Dがそれです。



■ アメリカで高速テスト



とくにアメリカ東南アジアなど、混合ガソリンが販売されていないところでは、非常に歓迎されました。燃料の補給はガソリンだけでなく、海外におけるヤマハの評価もグンと高まりました。

とくにアメリカ東南アジアなど、混合ガソリンが販売されていないところでは、非常に歓迎されました。燃料の補給はガソリンだけでなく、海外におけるヤマハの評価もグンと高まりました。



とくにアメリカ東南アジアなど、混合ガソリンが販売されていないところでは、非常に歓迎されました。燃料の補給はガソリンだけでなく、海外におけるヤマハの評価もグンと高まりました。

とくにアメリカ東南アジアなど、混合ガソリンが販売されていないところでは、非常に歓迎されました。燃料の補給はガソリンだけでなく、海外におけるヤマハの評価もグンと高まりました。

■ 技術者の夢が実現



四十一年二月、全世界のヤマハ「オートループ」を対象にしたまったく新らしいアーフターサービス「オートループキャンペーン」が開始されました。

発売以来、はやくも五十万台をこえるヤマハ「オートループ」が世界のあらゆるところ

で活躍しています。これまで発売されたオートループキャンペーンの目的です。

これまでの常識では考えられなかつた大き

い規模のアフターサービスとして、世界の注目を集めました。

■ ループ時代來たる



ヤマハ「オートループ」の名声が刺激となって、2サイクルエンジン・メーカー各社も分離自動給油装置を採用するようになりました。

このループ時代のさきかけとなつたのがヤマハ「オートループ」です。ヤマハ独自の技術によって開発されたオートループの高性能には、最高の信頼が寄せられています。

■ ノー・クレーム サービス・フリー



ヤマハ「オートループ」のオイルポンプはエンジン回転数とキャブレターのスロットル開度の変動により、オイル吐出し量を変える

混合潤滑のものでは、普通、二〇対一とい

う割合いで、ガソリンとオイルをまぜて使用

していますが、ふつうの走行ではオイル供給

が過剰になりがちです。

ヤマハ「オートループ」は、軽量で、きわ

め精密ですが、ノークレームです。

ですから、絶対の自信をもつて、オートル

ープのフリー・サービスを行なっています。



⑧エンジンが焼きつかない。



⑦エンジンの中にカーボンがたまらない。



⑥オートループでエンジンも強力。⑤潤滑にムダがなくオイル代が安い。



誌上

全国ヤマハメイト会議

世界中のヤマハメイトが待望していたヤマハの新工場がいよいよ完成しました。これによつて世界中で激増しているヤマハファンに、安心してハマハを乗りまわしてもらえるようになります。

このように躍進するヤマハに期待する全世界の販売店、ユーチャーのみなさまから、いろいろなご意見やお祝いのことば、期待のことばが集まりました。

そこでそれらのお手紙に加えて、ヤマハの川上社長以下経営陣が先日工場完成のお祝いに集つていただいた皆様の代表の方々に対して発言したことばを載せて全国ヤマハメイト誌上会議を開くことにしました。

まず、ヤマハの魅力をたたえたお手紙からご紹介しましょう。



千葉県山武郡芝山町
小池九八九
真行寺久雄

私の学校では、オートバイの通学許可制をとり許可証を発行しています。鉄骨のオートバイ置場も出来て、現在一五〇台ほどですがその中でオートループのヤマハは注目のままであります。我々ヤマハグループの宣伝もあって、人気は上がっていますが、いっぺん知つてしまふと、こつちより夢中になるのがいてめんくらいます。それもヤマハの持つ魅力のためだと思います。これからもますます、我高校生の心をうばうような魅力ある車をつくってください。

我々夢多き若い世代のアイデア等大いに活かして、この辺でヤマハならではの大冒険を大いに期待する。



墨田区東向島四之一
末広方
本山楨一郎

テレビでやつてる、のつてるのつてるヤマハメイト、非常に親しみやすいコマーシャルだ。未知の世界に挑戦しつつあるヤマハにとって別の一面にもとれそうだ。

我々若い世代の人間からいわゆるお年寄の方々までヤマハの大衆性は計り知れないものがある。

今日まで築き上げてきたヤマハを一層発展する為にも、多くの人の期待を実現する為にも、今までないアイデアを注入した魅力ある製品を作ることだと思います。

我々夢多き若い世代のアイデア等大いに活



岐阜県大野郡
丹虫川村法力
平野敏男

私たちのヤマハに対する意見としては、今どの会社も競争で作っておりますけども、しかしヤマハの車両は、他の車両には見られない特長があると思います。

私は、何種類もの車両を見まして、形や安定性、連続高走又どんな悪路でも絶対に、びくともしないエンジンは、どの会社にも見られぬところがあります。私たちの村では、急な坂がないへんおおくありますが、やはりヤマハでなければ、長時間は乗りまわれません。これもヤマハならのこと、たいへんありがたいと思っています。この激しい競争の中で、ただヤマハだけが開発したこのオートループはたいへん私どもに魅力です。

ヤマハでは、新工場の完成と共に魅力ある新製品のツイン九〇を作られて、どんどんと作られ、又これからもよりよい製品を作られることを望んでいます。



僕が、ヤマハを初めて知ったのは、半月位前でその時の車は、YDS2を、モトクロス用に改造した車です。印象的なガソリンタンク

まつたく、良いデザインでこれほどオートバイラシク感じさせられた車はありません。カタログでいろんなヤマハに試乗して見ました。中でも大きさもごろり安くて、安定性のよい車、ヤマハ125YAT1僕らはこれを赤タンクと呼んでいます。車に乗って車を斜めにしてアクセルをグイとひねりて車ははすと立つ。これほど安定性良好の車はまずないでしょう。この車を知っている人も数えきれない。スタイルも独特なデザイン。そうゆう所も魅力的です。また四輪レーサーなんかも製作して、たとえばF1レーザーGTプロトタイプなんか出来れば良いなーと思つております。大だんて機能的なデザインのヤマハ2000CCCGTプロトタイプYMX777なんて、すばらしいと思います。



川上社長

右のような若いヤマハファンのことばは、川上社長の以下の発言で裏づけられています。



神奈川県中郡伊勢原町
三ノ宮一五三

塩川克博



埼玉県行田市忍一六〇
本山明正

今日のヤマハの絶体的人気の源泉は、言ふ

オートバイを造つてゐる工場にはスズキ、ホンダなどがヤマハのほかにあります。ヤマニユースを見てからといふものは性能のよさ、耐久性などからヤマハが一番気に入ります。特にツイン90というオートバイの型気が入り今すぐでも乗りたいという気持です。私は今15才ですが今年の暮には16才になりオートバイの免許がとれるようになります。年が来たらさつそく免許をとり、ヤマハのツイン90を買うつもりです。今から楽しみでワクワクしています。これからもヤマハがいつそう躍進することを期待します。



日立市弁天町一丁目
七番十三号

大場和夫



山形県新庄市金沢
二四四〇番地
富樫モーターホーム

私は前進に前進を続けるヤマハにはせつたいと言ふ位の自信と決意をもつてセールスをする事が出来る。私の店は国道13号線に面した所に有りますが遠く東京や千葉、名古屋方面よりAT90がエンジンの音も軽く走つてくことがあります。そのようなとき私は何か自分の友人が来たかの様にとてもうれしい、いつもその人達と話をしますがガソリンはまたエンジンはと聞くとみんながせんぜん快調と同じ答です。なるほどそのはずである。前進するヤマハが、スズカまた海外での各レスでその高性能を実証した製品だからである。これもメーカーの人達の日ごろの研究によるものであると思う「無敵」と言うことばが誠にびつたりしている。

今後我々国民のだからも愛されるヤマハを作つて下さる事を期待し私も今後其自信をもつて売つて行く決意を新たにするもので

経済界はインフレの招來で大いにゆれています。事実私どもの車の原材料も大変な値上がりで、これを吸収するために大いにコストダウンもやつておりますが、販売の面でもより一層の販売効率の向上がのぞまれております。しかしこのようなくらい条件になつても、魅力ある商品をつくることが、これを解決する最大のカギだらうと信じております。事実ヤマハはこれまで、もつとも魅力ある商品をつくり出し、これからもこの方針は絶対に変りません。

真夏の太陽の下!!今日の躍進、更に明日への栄光を夢にヤマハで走つて見度いと思うのは私だけではないでしょ。ロータリーバルブの先行と思い切つたオートループの話題は日増しに滲透してきました。オートループの優秀性は他を寄せ付けない完璧な製品と確信します。広く世界各地での優勝、今年の話題もヤマハの独占が期待されます。この時に待望の新工場完成、より新らしい技術とセンスから生れる新製品は作るもの、販売するもの、これを使乗するもの三者一体の血の通つた結び付きこそ大切と痛感いたしました。

23 跳躍ヤマハ

営業十積経営

白年産工場完成

昨年の後半からヤマハはメイト作戦の展開を実行に移し、小排気量を中心として、より広く、より多くの人たちのヤマハとして出発しました。そのため、中村第一業務部長の発言にもその成果が語られています。



中村第一業務部長



責任の完璧



長岡常務

昨年の一月から五月と、今年、四一年の一月から五月のヤマハの製造台数は、九万六千台から、十五万七百台と約百五十五パーセントのアップを示しております。これはまた業界の中では驚異的な伸張率で、他のメーカーがすべて十パーセント以下の伸びであることを見てもわかります。これは国内の市場占拠率の伸びをみるとまったく他社を寄せつけおりません。というより昨年よりも上ま

このように販売店の方が感じられるよう広く、多くの人たちに愛されるには、どうしても小排気量のメイトを中心としたバリュアルカーレ開発が急がれます。そして業界で大きな地位を占めるにはこれしか道はないのです。

小池専務の発言でもこのことは確認されています。さらに長岡常務の談話は



知多郡大府町
大字大府

佐野モータース
佐野清

昨年秋から、メイト作戦と名付けるセールスキヤンペーンを行なつたわけありますが、この成果は先程もお知らせしましたよう非常に顕著なものがありました。しかし、これを短期のキヤンペーンと考えておられる方もいらっしゃるようですが、ヤマハとしてはこのメイト作戦は恒久的に実施する方針である

このように将来に対する深い見通しのもとに、伸びようとするヤマハの販売に対する意欲はみなみならぬものがありますが、それにも増して、売りっぱなしにしないヤマハはオートループキヤンペーンという、これまでのアフターサービスの常識をやぶる大事業を実施したのです。これに対する反響もかなりあります。みなその徹底したサービス精神におどりたり、カンタンしたりしたものばかりです。



東京都板橋区
下赤塚一三一〇

野沢正夫

お客様と私をガッチャリ結んでくれたもの、それはオートループキヤンペーンと云つても過言でない。あるお客様の話では勤め先でキヤンペーンサービスが有料かで大いに話



中村第一業務部長

これは、メイトを中心とした小排気量の販売に力を入れるといった一連の施策が非常に順調に進行したこと示しております。

(数字は小型自動車工業会の資料による)
このような数字をうらづける販売店さんの手紙も来ているのです。

わったのはヤマハだけということあります。

ヤマハが昨年の九・九パーセントから十五・六パーセントに伸びているのに対し、スズキは十七・九から十八パーセント、大手のホンダでは、六四・九パーセントから、五九・八

と大台割れという状態であります。

これは、メイトを中心とした小排気量の販売に力を入れるといった一連の施策が非常に順調に進行したこと示しております。

(数字は小型自動車工業会の資料による)
このような数字をうらづける販売店さんの手紙も来ているのです。



静岡市南町
二丁目五の六
藤田モータース

ヤマハで生きようとしている私にとって、ヤマハ新工場完成は実に嬉しい次第です。私は五年間ヤマハ一筋にこつこつと販売に勤めました。今ではお陰でヤマハではあの店といわれるようになります。オートバイもモペットクラスに変り、ますます他車との競争も烈しくなります。それにはメイトに期待をかけて大いにハッスルしたいと思います。宣伝も大いにやってユーザーに信頼を高めてください。

が一番良く売れます。特にメイトになつてその後行きが大変良く成つてきました。オートループのスバルシカをお客様に説明しますと、お客様はビックリします。これからもヤマハ技術のスバルシカを發揮して下さい。

ことをここで確認していただきたい。これは経営基盤の拡大を目的として販売を実施するには絶対にやりとおさなくてはならないことがあります。

野沢さんのお手紙にもあるように、ヤマハの工場を見たいという方は非常に多いのです。その方たちによろこばれるのがこんどの新工場、仲常務のことばを聞いてください。



仲 常務

本社工場に隣接しました新工場は総面積が二万四千坪（約八千坪）一部二階建で、見学コースも新設された工場であります。

ここでは、これまで品うすで各地のユーチューバーにごめいわくかけていたメイトとAT90の組み立てを行うことになります。

ではついでにヤマハの工場群について聞いてみましょう。

ヤマハ発動機には、メイト・AT90など中間排気量と船外機をつくる本社工場、新工場の他、主に部品の製造をおこなっている北川自動車、新らしく購入した広大な土地に着々と整備されつつある磐田工場、大排気量のYM1、YDS-13を作つている沼津の昌和製作所、それに我国のボートの70%を生産している、浜名湖畔の新居工場があります。

これらの工場はすべて、ヤマハを製造し、世界中のヤマハファンに、陸上水上を問わず樂しさを提供しているのです。

これらの工場群をつぶさに見てまわった、ヤマハ会の会長、北海道ヤマハの柳谷社長は

北海道ヤマハ
柳谷社長

新工場、他の工場群を見て、いかに工員の方一人一人がヤマハを作ることに真剣にとりく

んでいるかということがよくわかり、これだからあのような高品質のヤマハが生れてくるのだろうと納得致しました。そしてこのようないい雰囲気を通して、ヤマハの決意を感じられ、我々売るものも、もつと真剣にとりくまなければならないと、今更ながらに決意をあらにしたわけであります。

そして販売効率の向上と、シェアの拡大のために、われわれの持てる力をフルに發揮して新しいヤマハメイトの獲得に一路邁進することをお約束します。

そして、次のお手紙のようにヤマハの発展を喜んでくださるユーチューバーがたくさんいらっしゃるのです。



北海道苫小牧市
東部七区七二
高橋基寿

どこの町でも、どんな道でも快よいヤマハのエンジンの音がひびき、今や世界のヤマハとして飛躍的なノビを続いている我らのヤマハに絶大なる拍手を送ります。

更に加えて今年のピックニュース

「一挙に二倍の増産二階建の二サイクルエンジン新工場完成！」

そして海外にも新工場建設と言う我らファンにとってこんな嬉しいことはない。

こゝでヤマハに望みたいことはノークレームの実現も大切だが、今急増しつゝあるユーチューバーのためには各地に友の会を組織し技術面その他知識の普及に力を入れて欲しい。

ユーチューバーは自分の車を愛する以上にその会社にホレテいる事を忘れないでください。

ヤマハの限りない前進を期待する

このように、メーカーは増産の決意をかため、デーラーは売ることを真剣に考え、ユーチューバーはヤマハの普及に祝福を送る。これこそヤマハ発展のまつたく理想的な条件です。

時は来たのです。ヤマハの一大発展のためにこれからもデーラー、販売店、ユーチューバーのみなさまのご協力を心からお願い致します。

時代「新工場設立」新しいアイデア「新製品」これでこそヤマハの真価を世に問うことが出来るのではないだろうか。サービス業務の面で、オートループキヤンペーン是非定期的に続けて下さい。

工場完成の祝電

丁

香港ヤマハ代理店 万里達車行

（マリタ・モータース）

新工場の発足を心からお祝い申しあげ 貴社の限らないご発展をお祈り申しあげます。

丁

台湾ヤマハ総代理店 功学社

つつしんで新工場落成をお祝い申しあげます。

丁

シンガポールヤマハ代理店 ウイン・ミン社

ヤマハ新工場落成おめでとうございます。2サイクルのキングとしてのご発展を祈る。

トヨタ2000GTをつくる

ヤマハの技術



昨年のモーターショーでひときわ高い人気をあつめたGT——といえば、カーマニアならずとも、美しいボディ・デザインと引込み式のヘッドライトなど、各所にさん新な設計が施されて話題となつた「トヨタ二〇〇〇GT」を思ひうかべるであろう。

またレース・ファンならば、ことしの五月に行なわれた第三回日本GPカーレースにおいて工場レーサーともいふべきプリンスR三八〇、市販レーサーともいふべきボルシェ・カレラ6など、強力なライバルを相手にGTすなわちグラン・ツーリングの「トヨタ二〇〇〇GT」プロトタイプが初陣ながら堂々三位に入賞したこと、また六月に行なわれたスズカ一〇〇〇キロ耐久レースではみごと優勝、二位も占めるなど噂にたがわぬ実力をみせ、多くの観客に強烈な印象を与えたことを知つてゐるにちがいない。

そしてこの話題の車——「トヨタ二〇〇〇GT」には、躍進ヤマハの高度な技術がフルに投入されてゐるのである。

ヤマハ発動機株式会社とトヨタ自動車工業株式会社とは技術研究に関する契約をとりかわし、その一つの成果が「トヨタ二〇〇〇GT」なのである。見るからに美しいボディはヤマハの手により架装されたものであり、このボディの中におさまつたダブルOHC直列六気筒のエンジンはヤマハ技術陣によりチューンアップされ、スタンダードで一五〇馬力／六〇〇〇毎分回転、レーシング用では二〇〇馬力／七二〇〇毎分回転にまでひきあげられる。そして二一〇キロ／時のクルージングスピードと、二五〇キロ／時に達するマキシマムスピードを發揮するものとする。

世界GPレースにおいて二年連続二五〇cc級のメーカー・チャンピオンを獲得したヤマハは、世界に先がけてロー・タリーバルブを実用化し、オートループ装置を開発して技術の優秀性を世界に実証したが、その高度な技術は四輪車界にも生かされているのである。

新工場完成の記者発表

国内の専門誌記者団に対するヤマハの新工場完成発表会が、6月20日、東京のホテルオークラで開かれました。

記者団からは、本社工場に隣接した新工場の稼働状況や、磐田新工場の建設進行状況、あるいは躍進ヤマハのビジョンなどについて活発な質問が出されました。



新工場完成の記者発表

ヤマハポートS40大型艇が完成

ヤマハポートS40大型艇が完成しました。

海のレジャーの本格化とともに、10メートルを越すスポーツファイシャーマンの出現を要望する声が高まっていましたが、ヤマハではこれに応えるため、大型ポートの完成をいそいでいたものです。

スピード、凌波性、居住性など、まったく新しい考え方と技術を取り入れた、世界的にも誇り得るポートです。

部屋のレイアウトとデッキアレンジメントも数種用意されます。



S40仕様

船型…深いV型の底と丸みのビルジとストライプ
が特長

全長	12M 400
吃水線長	11M 350
最大幅	3 M 220
深さ	1 M 700
排水量	6 ~ 9 トン
最大吃水	1 M 000
機関馬力	80HP ~ 300HP
速度	13KT ~ 20KT



第3回日本GPカーレースにおいて確かな走行性能を発揮したトヨタ2000GT。



持続最高速度210km/h! 市販に入れば日本一の高速車となる。



機能的にレイアウトされているインストルメントパネル。左ハンドルで分かるように輸出仕様のものも用意されている。



ヘッドライトはモーターによってひき起され4灯式となる。
もちろん日本の車として初めての試みである。

内外に

活躍するヤマハ

またも王座を狙う快調ヤマハチーム

昨年、一昨年の二年連続二五〇ccクラスのチャンピオンとなつたヤマハは、さらに一二五ccクラスの王座を狙うべく、今年も快調のすべり出します。第一回のスペインGPで優勝、第四戦のダツチTTでも優勝と現在有効得点と優勝回数でだんぜんトップに立っています。

今や世界の話題となつたオートループの活躍に、世界中のヤマハファンが注目しています。オランダでも西ドイツでも、その人気は大変なもので、ただ昨年のチャンピオンに対する興味だけではないものがあるようです。このように、レースに日常生活に、映画に活躍するヤマハは、新工場完成とともに、ますますファンを増加させることでしよう。

六月二十六日に行なわれたダツチTTで一二五ccクラスにリードを続けるヤマハチーム、⑧P・リード、⑨ビル・アイビイ、結果はアイビイがトツブになつた。

大衆の好みを反映する映画出演

世界中でヤマハファンが急増していることは機会あることにお知らせしてきましたが、新工場完成の特集号であるこの誌上で、ヤマハの活躍ぶりをまとめてみました。

特に最近めだつことは、アメリカ映画のなかで、ヤマハが使われることが多くなりました。スパイ物の喜劇「アウト・オブ・サイト」、四輪レースを主題にした「グランプリ」など、その他ブレスリー映画などにもしばしば使われています。これは大衆の好みをいち早く反映するハリウッド映画だからです。もちろんアメリカでのヤマハオートバイの人気上昇がこのことの裏づけとも原因ともなつてているのです。



ますます好調のメイトとツイン90

乗つちやえ乗つちやえ、とばかりにメイトにのるヤマハの仲間がふえています。オートループのついたぜいたくで安上がりなモペットとして発売前から注目されていたメイトはあつかいやすさと手軽さで躍進、それまでもつとも弱いといわれていた50ccクラスを充分にカバーし、なお全国的に伸びを示しています。このことは町でメイトを見かける数が多くなつたことからも察しられ、また乗つちやえの歌とともに、知名度の向上からもうなづけることです。

世界初の90ccツインとしてデビューした。ヤマハオートループツイン90は、まったく90ccクラスの人気を独占。そのうえレースにおいてもその強さを内外に示しています。

オートループ時代の花ひらく国内市场

では国内に目を転じてみましょう。六三年のモーターショウ発表、六四年の春から発売されたオートループのヤマハは、その後も驚異的な伸びを見せ、すでに五〇万台の実績をあげています。その間にはそれまでのアフターサービスの常識をやぶるオートループキヤンベーンを行い、既販車の総点検という世界にも例のない大事業を実施。そのデータから、ますますオートループの完璧さに自信を深めできました。





世界各地のアマチュアレースで大活躍

もうひとつ、今年になつてからの傾向に
世界各地のアマチュアリスでの好成績です。

当編集部にも、南米、オーストラリア、アフリカ、東南アジアなど、世界中の編集者たちが、日々、様々な情報を送り込んでくれています。

スでの勝利を伝えるニュースが入ってきてい

年と、二年連続二五〇cc級のメーカーチャン

へんことで、世界最高水準の車と選手が競

ハはこの技術をレーザーだけでなく、市販車

マチュアレースの勝利で証明されたのです。

最高の性能で最高の品質のものがとれたが
も買ふことができるということ。これがメー

かりとしても大きな使命であり、義務なのです。

南アフリカで行なわれたレースで優勝したYF-1

意が感じられる。



ますます多くなるヤマハファン。海外のあちこちでこんな風景も見られるようになつた。メイトに乗る、ミスメイト、世界中どこへ行つてもあなたがやまくメイトなつむぎをひきります。



アメリカではこのような使い方が一番多い、ハイウェイを四輪で行って、目的地はヤマハで走りまわる、ここでもオートループの威力は絶大なもののです。



躍進！ヤマハ特約店一覧



▼前橋市 井桁商事㈱

（茨城県）

▼日立市 日水実業㈱

▼水戸市 日水実業㈱水戸営業所

▼土浦市 第一自動車商会

▼潮来町 安原モータース

▼水戸市 ㈱榎沢本店

（埼玉県）

▼熊谷市 フジノモーターバッテリー販売

▼蓮田町 ㈲関根商店

▼与野市 ヤマハ埼玉㈱

（千葉県）

▼千葉市 ヤマハ発動機㈱千葉営業所

（東京都）

▼足利市 横田自動車販売㈱

（群馬県）

▼足利市 横田自動車販売㈱

▼宇都宮市 ヤマハ宇都宮㈱

▼栃木市 ㈲若色商会

▼台東区 水谷輪業㈱

▼千代田区 ミツワオート販売㈱

▼墨田区 城東営業所

▼墨田区 麻布営業所

▼港 区 上田支店

▼下諏訪町 諏訪支店

譏訪支店

多摩営業所

▼太田区 太田営業所

（新潟県）

▼太田区 墓田営業所

▼横浜市 江南自動車販売㈱

▼厚木市 厚木営業所

▼横須賀市 ㈲鈴木モータース

▼川崎市 共和自動車

▼横浜市 ㈱高橋商店柏崎店

▼柏崎市 ㈱高橋商店柏崎店

（新潟県）

▼新潟市 新潟店

▼長岡市 長岡店

▼直江津市 直江津出張所

▼佐久市 岩村田支店

▼松本市 信州自動車㈱松本支店

▼上田市 上田支店

（長野県）

▼長野市 信州自動車㈱

▼飯田市 飯田モータース

▼甲府市 山梨オート販売㈱

（山梨県）

太田営業所

総理大臣表彰に輝やく ヤマハの輸出実績

表彰状

ヤマハ発動機株式会社殿

貴社は輸出の振興に
尽力し顕著な功績を

あげられました

よつて、こに表彰します

昭和四一年六月二十九日

内閣総理大臣佐藤栄作



最優秀企業体10社の中に入る

高品質、高性能をほこるヤマハオートバイは海外においても高く評価され、輸出の飛躍的な増大となってあらわしている。

6月29日、ホテルオークラで開かれた「昭和41年度輸出会議」の席上でも、議長である佐藤内閣総理大臣から、輸出振興に多大の貢献をなしたことを見たえられたヤマハ発動機は業種別最優秀企業体である松下電機、日本楽器など9社とともに栄えある表彰を受けた。

佐藤総理大臣のあいさつ。三木通産大臣、椎名外務大臣、藤山経企長官らも列席した輸出会議会場。

世界の話題 ヤマハオートループ



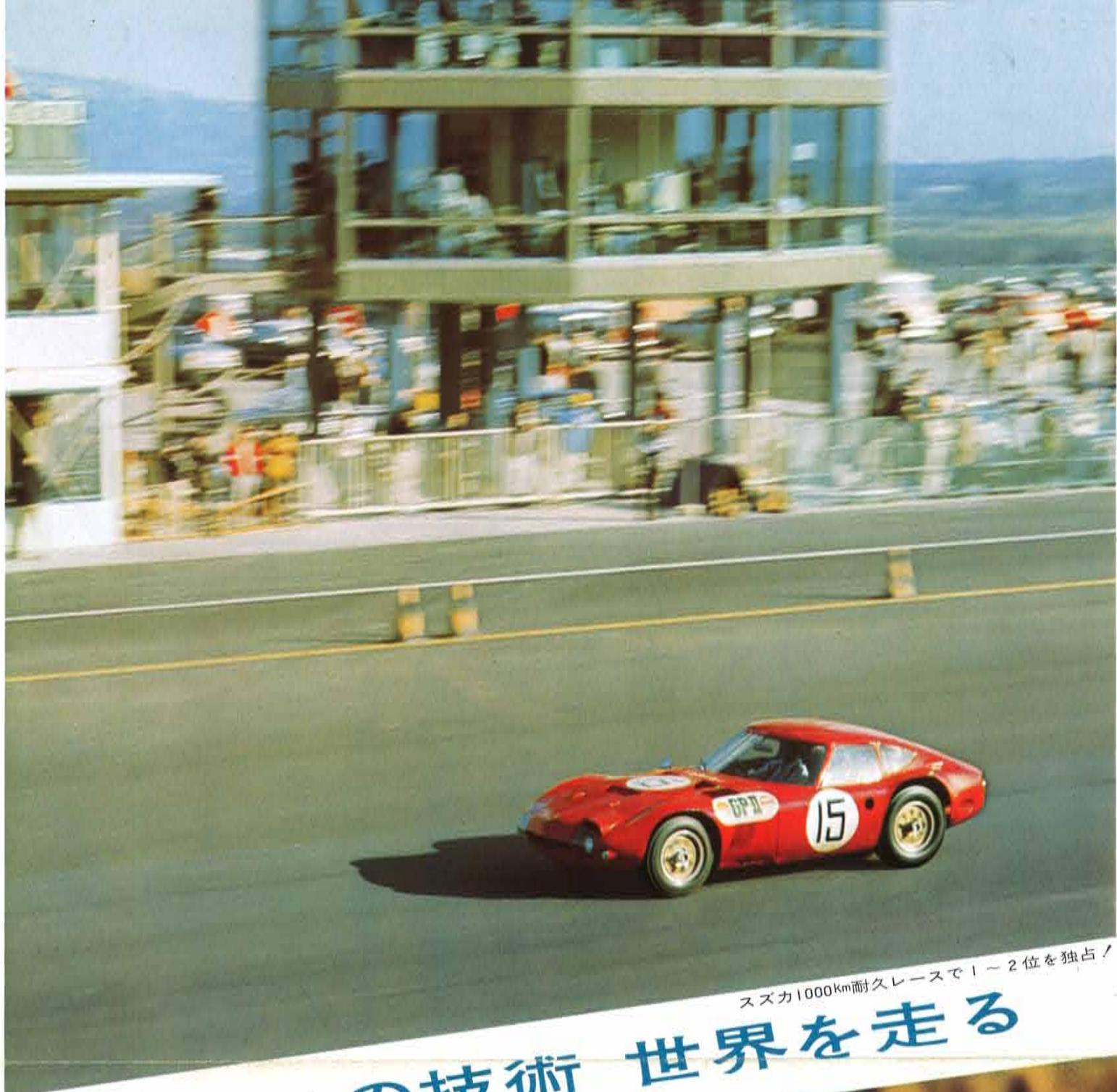
2サイクルは“ループ時代” オートループ
つきでなければ2サイクルではないとまでい
われています。そのループ時代をまっさきに
築きあげ、名実ともに世界のトップをいくの
がヤマハオートループです。



ヤマハ発動機株式会社

9月 8月
1 1
2 2
3 3
4 4
5 5
6 6
7 7
8 8
9 9
10 10
11 11
12 12
13 13
14 14
15 15
16 16
17 17
18 18
19 19
20 20
21 21
22 22
23 23
24 24
25 25
26 26
27 27
28 28
29 29
30 30

‘66
躍進ヤマハ
特集号



ヤマハの技術 世界を走る

スズカ1000Km耐久レースで1~2位を独占!
たくましく前進するヤマハGPレーサー!

